

# 平成29年度事業報告

## ① 北海道における河畔林の保全、復元及び活用事業

### <保全・復元>

しのつ河畔林、湯里では、下草刈り、枯れ枝の排除、雀蜂の駆除等の保全管理、冬場に於ける雪害対策、野ネズミによる樹皮食の防除対策、巡回等を行いました。

ニセコ、吉国では、南しりべし森林組合に委託し、下草刈りを行いました。吉国においては、マカバ1,800本、ミズナラ1,800本(1.63ha)の植樹も行いましたが、急傾斜地の植樹のため、事業費が予算より微増となりました。

また、樹齢30年超となった地帯の保育間伐を行うため、作業道の整備をしました。

### <湯里現地調査>

酪農学園大学環境共生学類 宮木雅美教授に委託した「「湯里」今後の保全方法に関する調査・研究」の報告がありました。

報告の概要は、以下のとおりです。

- (1) 湯里地区では計109種の高等植物を確認した。植栽されたトドマツとカラマツが一部残存しており、成長は良好である。
- (2) 若齢広葉樹二次林において鳥類調査を行った。多種の鳥類の中には北海道レッドリストで準絶滅危惧種のハチクマを確認した。
- (3) 湯里は狭い区域ながら様々な森林が成立しており、自然観察や散策に適した地域であるので、現在の森林を大きく改変せずに、自然の遷移に任せる方向が望ましい。

### <活用>

しのつ河畔林では5月～11月の期間は、一般の来訪者が林内を散策に訪れ樹木や草花の観察、写真撮影等をされている方々も多く見受けられましたが、栗やコクワ、キノコの時期には樹木の損傷が多く、マナーの悪さも見られました。

活用状況としては、7月19日(金)20名の団体がバスでしのつ河畔林を訪れ、散策をしたほか、団体利用の問い合わせが1件ありました。

ニセコでは、一般の方が散策に訪れていました。又、隣接地で開発行為による樹木の伐採が行われた影響なのか小動物(エゾリス)・野鳥等、見られる事が少なくなりました。

湯里では、樹木保護看板を設置しているにも拘わらず樹木の損傷が酷く、特に山菜採りの時期に多く見られたため、一部立入禁止の処置を取り樹木の保全に努めました。

## ② 自然保護思想の普及啓発、環境教育事業

### <普及啓発>

- ・自然セミナーを2回開催しました。内容は次の通りです。

第1回 6月7日(水) 10:00～13:30 33名参加

講師 酪農学園大学 宮木雅美教授

「春の河畔林」を宮木教授をガイドとし散策及びディスカッションを実施しました。

第2回 9月30日(土) 10:00～13:00 16名参加(親子6組)

講師 酪農学園大学 宮木雅美教授、地域環境保全学研究室の学生10名  
小学生を対象にした「親子自然セミナー」を開催しました。

宮木教授と学生で河畔林に生息する植物や昆虫をゲーム形式で採取し、学生がそれらの生態等を研究している分野ごとにわかりやすく解説しました。

各セミナーでは河畔林文庫の開放としのつ河畔林の写真の展示も行いました。

- ・しのつ河畔林, ニセコに来訪された方にはナショナル・トラスト活動を紹介した当財団のリーフレット・小冊子「深く掘がりのある自然との触れ合いを求めて」を配布し啓発活動を実施しました。  
また、NPO法人北海道遺産協議会主催の北海道ヘリテージウィーク2017において、北海道遺産の保全活動の紹介としてリーフレット100部を配布しました。
- ・ナショナルトラスト運動の普及啓発及び保全したい河畔林、溪畔林の情報収集を兼ねたPR葉書「森を知り、自然との共生へ」を10月20日(金)に1095通発送しました。
- ・ホームページの更新は随時実施しております。

### ③ 基本財産における株式の保有について（草野作工 株式会社の概要）

- |               |  |
|---------------|--|
| ・名 称          | 草野作工 株式会社（昭和28年 創立）  |
| ・所 在 地        | 江別市上江別西町16番地   |
| ・資 本 金        | 9,000万円  |
| ・事業内容         | 建設業 平成28年度 完工高19億  |
| ・役員数及び代表者氏名   | 5名 草野 貴 友  |
| ・従業員数         | 47名  |
| ・保有株数及び割合     | 90,000株 50%  |
| ・保有理由         | 財団の事業推進のため   |
| ・株式の入手日       | 平成 7年 1月25日 58,000株<br>平成10年 8月 7日 32,000株                               |
| ・当財団との関係      | 理事長の草野 貴 友は代表取締役、理事の草野 量 文は代表取締役専務である<br>平成29年度 1,500万円の寄付を草野作工株式会社より受ける |
| ・株主総会での議決権の行使 | 議長一任とする  |